

夏季における熱中症対策について

本校では、急激な気温上昇に伴い熱中症が心配される時期に、次のような熱中症対策をとっています。

- 1 担任は児童の健康状態を把握するように健康観察に努めています。また、児童にも体調が悪くなったら、自分ですぐに担任に話すように指導をしています。
- 2 毎日熱中症指数を WBGT（湿球黒球温度）指標計で計測し、全職員に知らせるとともに、児童にも掲示板で知らせています。

【資料】環境省「熱中症予防情報サイト」→ <https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt.php>

- 3 授業前後に健康観察・水分補給を行い、活動の途中でも、随時日陰での休憩・水分補給を行うよう心がけています。また、場合によっては、屋外での運動を見合わせるなどの対応をとっています。
- 4 放課や清掃時を含め、屋外での活動には帽子を着用させています。
- 5 熱中症対策グッズを職員室・保健室に用意して、体育の授業時に携行し、対応ができるようにしています。

【熱中症対策グッズ（クーラーボックス）】

- ・霧吹き
- ・経口補水液
- ・体温計
- ・うちわ
- ・タオル
- ・冷却剤（氷・保冷剤等）

- 6 体育の授業、放課の外遊びは、人との十分な距離を確保したうえで、マスクをはずしてもよいことにしています。また、登下校時は1列に並び、人との十分な距離を確保したうえで、適宜マスクをはずしてもよいことにしています。

【ご家庭へのお願い】

- ・体調管理のために、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣をしっかりつけさせてください。
- ・毎日、水筒とタオルを持たせてください。また、必要に応じて保冷剤等の持参も可とします。
- ・熱中症対策として、スポーツ飲料の持参を、必要に応じて可とします。
※一宮市教育委員会主催の熱中症に関する研修会において、専門医より「スポーツ飲料は、ナトリウムの他に、糖分も多く含まれているものが多く、多量に飲用すると子どもたちの健康上好ましくない場合がある。したがって、スポーツ飲料は半分程度水で薄めたものが望ましい。」と指導を受けましたので、ご考慮ください。

上記を原則としますが、特別な対応が必要な場合は、その都度連絡します。